

次の史料を読み、下記の問題に答えよ。

(25点)

□イ□元年七月二日、鳥羽院ウセサセ給テ後、日本国ノ乱逆ト云コトハヲコリテ後ムサノ世ニナリニケルナリ。(中略)城外ノ乱逆合戦ハヲホカリ。日本国ハa大友王子、b安康天王ナンドノ世ノコトハ、日記モナニモ人サタセズ。大宝以後トイ、テソノ、チノコト、又コノ平ノ京ニナリテノ、チヲコソサタスルコトニテアルニ、(中略)c将門ガ合戦モ、□ロ□ガ貞任ヲセムル十二年ノタ、カイナドイフモ、又隆家ノ帥ノトウイコクウチシタガフルモ、関東・鎮西ニコソキコユレ。マサシクd王・臣ミヤコノ内ニテカ、ル乱ハ鳥羽院ノ御トキマデハナシ。カタジケナクアハレナルコトナリ。eコノ事ノヲコリハ、後三条院ノ宇治殿ヲ心エズヲボシメシケルヨリネハサシソメタルナリ。

問A 上記史料の出典は何か。次の1～5の中から正しいものを1つ選び、番号を記せ。

(2点)

- 1 『吾妻鏡』
- 2 『百練抄』
- 3 『日本紀略』
- 4 『愚管抄』
- 5 『小右記』

問B 上記史料の□イ□に適する元号を記せ。(3点)

問C 下線部aの「大友王子」との戦いに勝利して即位した天皇はだれか。(3点)

問D 下線部b「安康天王」は、中国の史料における「倭の五王」のうちどの王に比定されているか。(3点)

問E 下線部c「将門ガ合戦」以後に起こった出来事に関する文を、次の1～6の中から2つ選び、番号を記せ。(6点)

- 1 最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編まれた。
- 2 源信が『往生要集』を著し、念仏による極楽往生の方法を示した。
- 3 古代最後の勅撰国史となった『日本三代実録』が編まれた。
- 4 律令再建策を述べた意見封事十二箇条が醍醐天皇に奏上された。
- 5 皇朝十二銭の最後となった乾元大宝が铸造された。
- 6 左大臣藤原時平の下で、最初の荘園整理令が出された。

問F 上記史料の□ロ□に適する人名を、次の1～5の中から1つ選び、番号を記せ。

(2点)

- 1 為義
- 2 義仲
- 3 頼信
- 4 頼義
- 5 義親

問G 下線部dに関して、「鳥羽院ノ御トキ」以後に起こった出来事に関する文を、次の1～5の中から1つ選び、番号を記せ。(3点)

- 1 前上総介の平忠常が、房総地方で反乱を起こした。
- 2 沿海州地方の女真族が、対馬・壱岐・筑前に来襲した。
- 3 藤原道長が太政大臣に、藤原頼通が摂政にそれぞれ就任した。
- 4 平清盛が太政大臣となり、平氏は全盛期を迎えた。
- 5 尾張国の郡司・農民らが、国司藤原元命の悪政を31カ条に列挙して朝廷に訴えた。

問H 下線部 e に関する説明として誤っている文を、次の 1～4 の中から 1 つ選び、番号を記せ。(3 点)

- 1 「宇治殿」とは、宇治平等院に鳳凰堂を建立した藤原頼通のことである。
- 2 「コノ事」とは、後白河上皇の近臣間の対立から引き起こされた内乱のことである。
- 3 「後三条院」は、1069 年に延久の荘園整理令を発し、記録荘園券契所を設けた。
- 4 「コノ事」の根本原因は、「後三条院」が「宇治殿」から政権を奪い返したことであり、史料は述べている。